

# やんばる国立公園

公園区域及び公園計画の変更(一部変更)

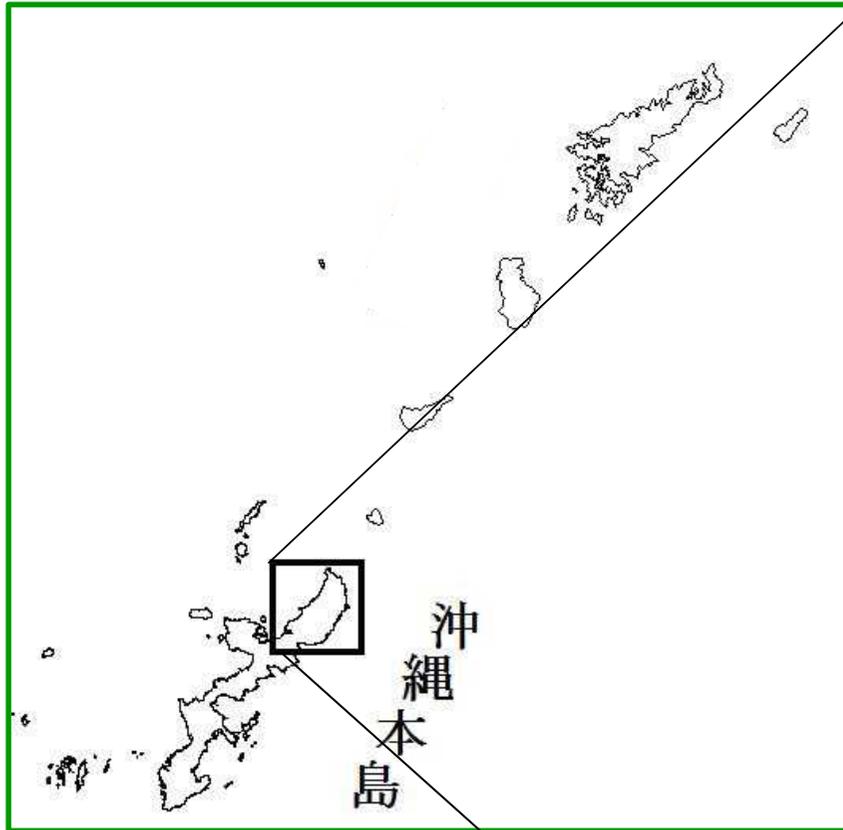
# 御説明の流れ(レジュメ)

1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. パブコメへの対応について
6. 世界自然遺産登録について

# 御説明の流れ(レジュメ)

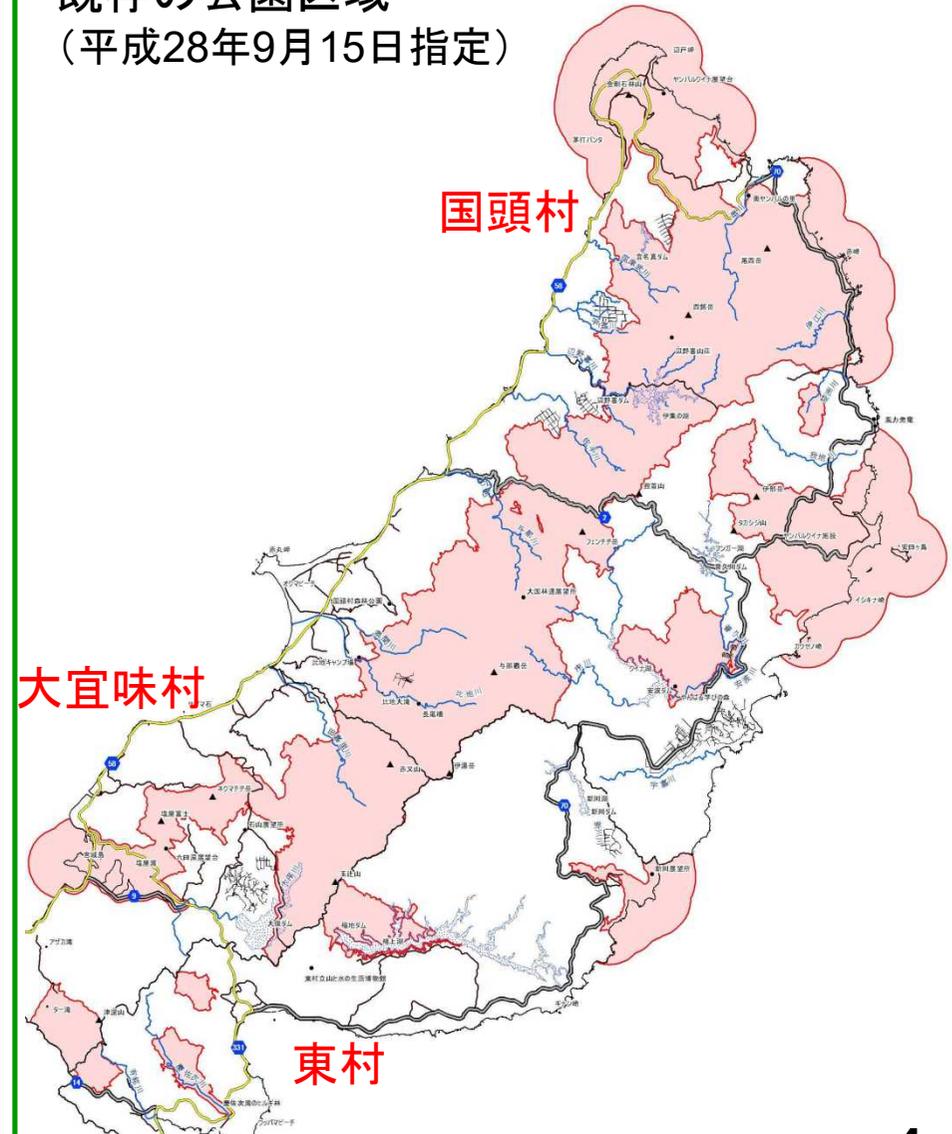
1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. パブコメへの対応について
6. 世界自然遺産登録について

# やんばる国立公園について



沖繩島北部(国頭村、大宜味村、東村)  
にまたがる地域

既存の公園区域  
(平成28年9月15日指定)



# やんばる国立公園の指定までの背景

平成14年 「沖縄振興計画」で「国立公園化を検討」

平成15年 「世界自然遺産候補地に関する検討会」で  
世界自然遺産候補地として選定

平成19年 「国立・国定公園の指定及び管理運営に関する  
提言」で、「やんばるの照葉樹林を国立公園指  
定も視野に評価すべき」

平成20年 「やんばる地域の国立公園に関する基本的な  
考え方」を公表

平成22年 新規国立公園候補地として抽出  
(国立・国定公園総点検事業)

平成28年9月15日 やんばる国立公園指定

# 指定理由

## 風景型式

- 多くの固有種が集中して分布する国内最大級の亜熱帯照葉樹林の生態系、雲霧林、溪流植物群落などの河川生態系、石灰岩地特有の動植物、マングローブ生態系といった多様な生態系が複合的に一体となった景観

## テーマ

亜熱帯の森やんばるー多様な生命(いのち)育む山と人々の営み





亜熱帯照葉樹林が広がるやんばるの森



石灰岩が作りだす風景(大石林山)



マングローブ林(慶佐次)



ノグチゲラ



ヤンバルクイナ



オキナワイシカワガエル



ケナガネズミ

# やんばる地域の概要（自然環境）

## 地形

- 沖縄島最高峰のよなはだけ与那覇岳（503m）を有し、にしめだけ西銘岳やいゆだけ伊湯岳など明瞭なピークを持たない標高400m前後の非石灰岩の山地が島の中央部に沿って発達し、せきりょう脊梁山地を形成。
- 辺戸岳、ネクマチヂ岳には石灰岩が分布し、カルスト地形が形成。



与那覇岳



辺戸岬

## 植生

- スダジイやオキナワウラジロガシなどの亜熱帯照葉樹林が広い面積を占めている。
- ヒカゲヘゴ、アマミアラカシ、ソテツ、マングローブ群落、なども見られる。



亜熱帯照葉樹林

# やんばる地域の概要（自然環境）

## 野生動物

- オキナワトゲネズミ、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、オキナワイシカワガエル、ヤンバルテナガコガネ、クロイワトカゲモドキ、リュウキュウヤマガメなどの固有種や希少種が生息



# やんばる地域の概要(人文・歴史)

- 琉球王朝時代から、薪炭や都城の建設・船の用材となる林産物の生産・供給の場。木材を多人数で運ぶ際の歌は国頭木遣音頭(クンジャンサバクイ)として伝えられている。
- 山で薪炭や琉球藍づくりの生業が営まれていた名残として、現在も各所に炭窯や藍つぼの跡が残る。
- 海と山を一体として捉え、1つの空間から自然の恵みを受けているという空間認識で、祭祀がこれを象徴的に表している。祭祀は集落の伝統として受け継がれ、国頭村安田のシヌグ、大宜味村塩屋湾のウンガミが国指定重要無形民俗文化財。



# やんばる地域の概要(利用)

## 利用者数

- 約40万人/年と想定 (沖縄県の観光客(約664万人)の6.0%)

※国内県外客(外国人や、県内客は含まない)

- 訪問者の 7割は日帰り

※平成28年度沖縄県入域観光客統計概況(沖縄県)  
平成28年度観光統計実態調査報告書

## 利用形態

- 辺戸岬や比地大滝などの 景勝地めぐり、与那覇岳などの 登山、慶佐次のマングローブやダム湖を利用した カヌー体験、川遊び、ヤンバルクイナなどの 生き物観察 など



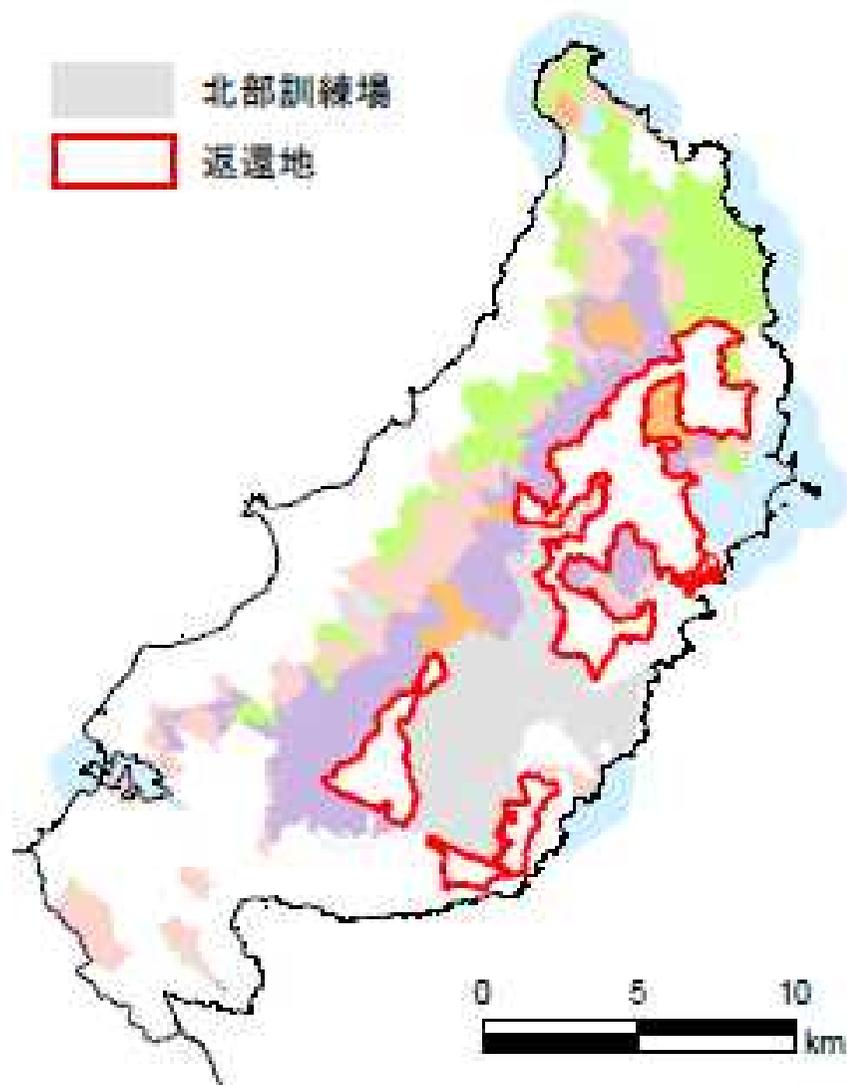
# 御説明の流れ(レジュメ)

1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. パブコメへの対応について
6. 世界自然遺産登録について

# 今回の変更までの経緯

- 平成8年12月 SACO合意 ⇒北部訓練場過半の地域の返還  
(SACO: Special Action Committee on OKINAWA)
- 平成28年9月 やんばる国立公園の指定  
⇒北部訓練場返還予定地以外の地域において指定
- 平成28年12月 北部訓練場過半の返還 ←
- 平成28年度 返還地における既存の自然環境情報の収集・整理
- 平成29年度 返還地における自然環境調査を実施
- 平成29年12月 返還地について土地所有者(林野庁等)へ引渡し
- 平成30年3月 中環審自然環境部会による現地視察

# 今回の変更案について(返還地)



北部訓練場の過半の返還

約4,010ha

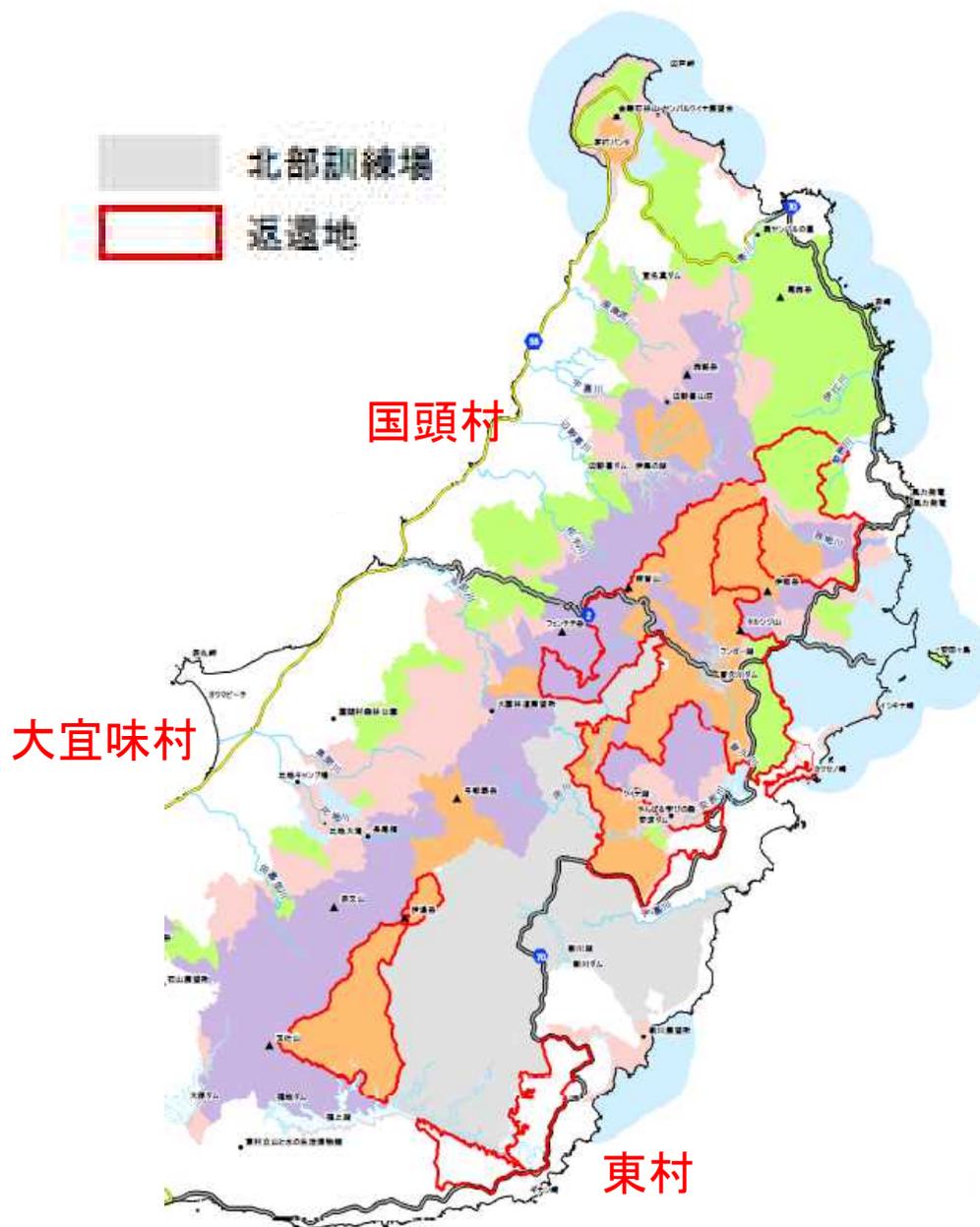
うち、公園区域に編入する面積

約3,600ha  
(返還地のうち約9割)

# 御説明の流れ(レジュメ)

1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. パブコメへの対応について
6. 世界自然遺産登録について

# 今回の変更案について(公園区域)



## 陸域・海域別

13,622 ha (陸域)  
→17,311ha  
3,670 ha (海域)  
→変更無し

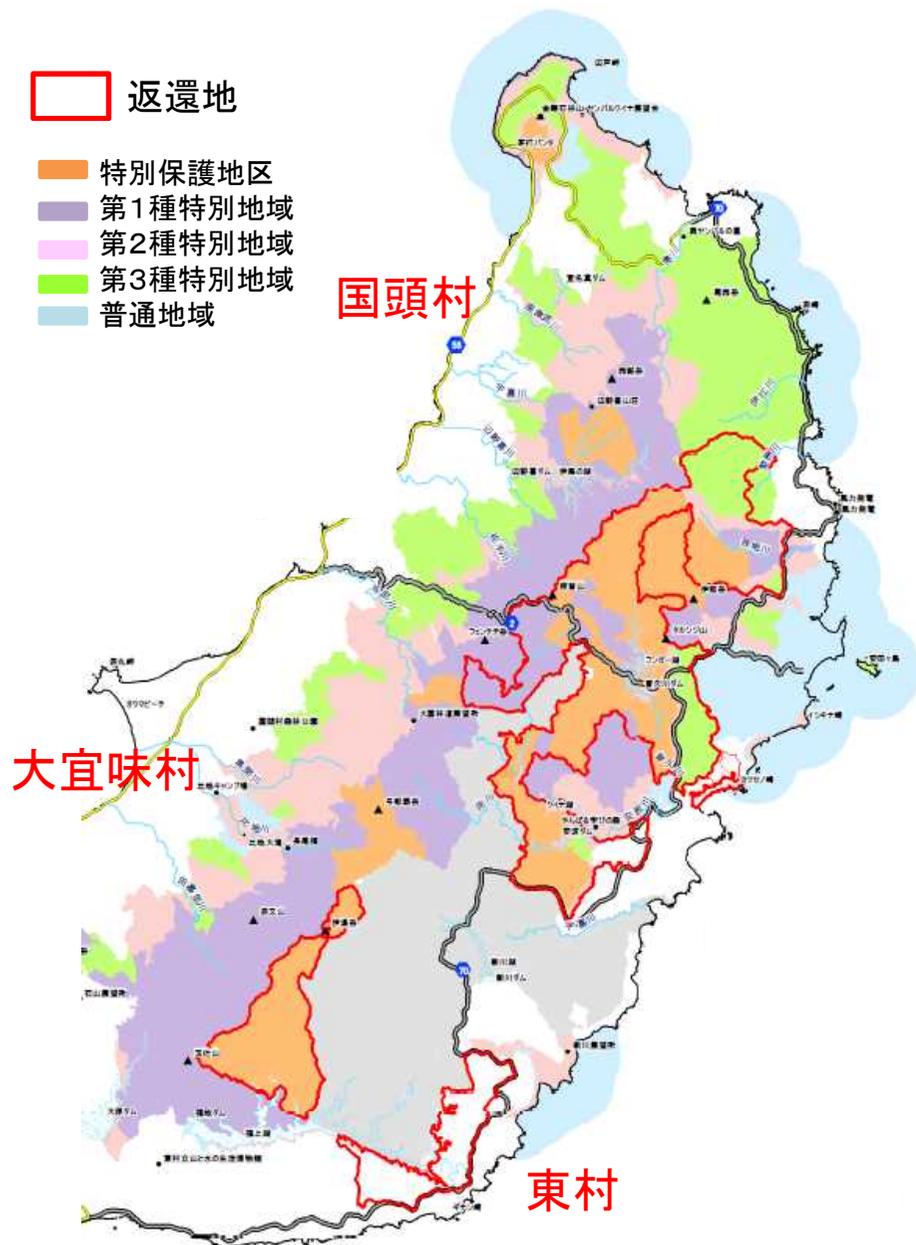
## 土地所有者別

国有地  
(2,937ha→6,434ha)  
公有地  
(7,672ha→7,852ha)  
私有地・土地所有者不明地等  
(3,013ha→3,025ha)

# 今回の変更案について(地種区分)

返還地

- 特別保護地区
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 普通地域



特別保護地区

789ha → 3,009ha (+2,220ha)

第1種特別地域

4,428ha → 5,001ha (+573ha)

第2種特別地域

4,054ha → 4,413ha (+359ha)

第3種特別地域

3,345ha → 3,857ha (+512ha)

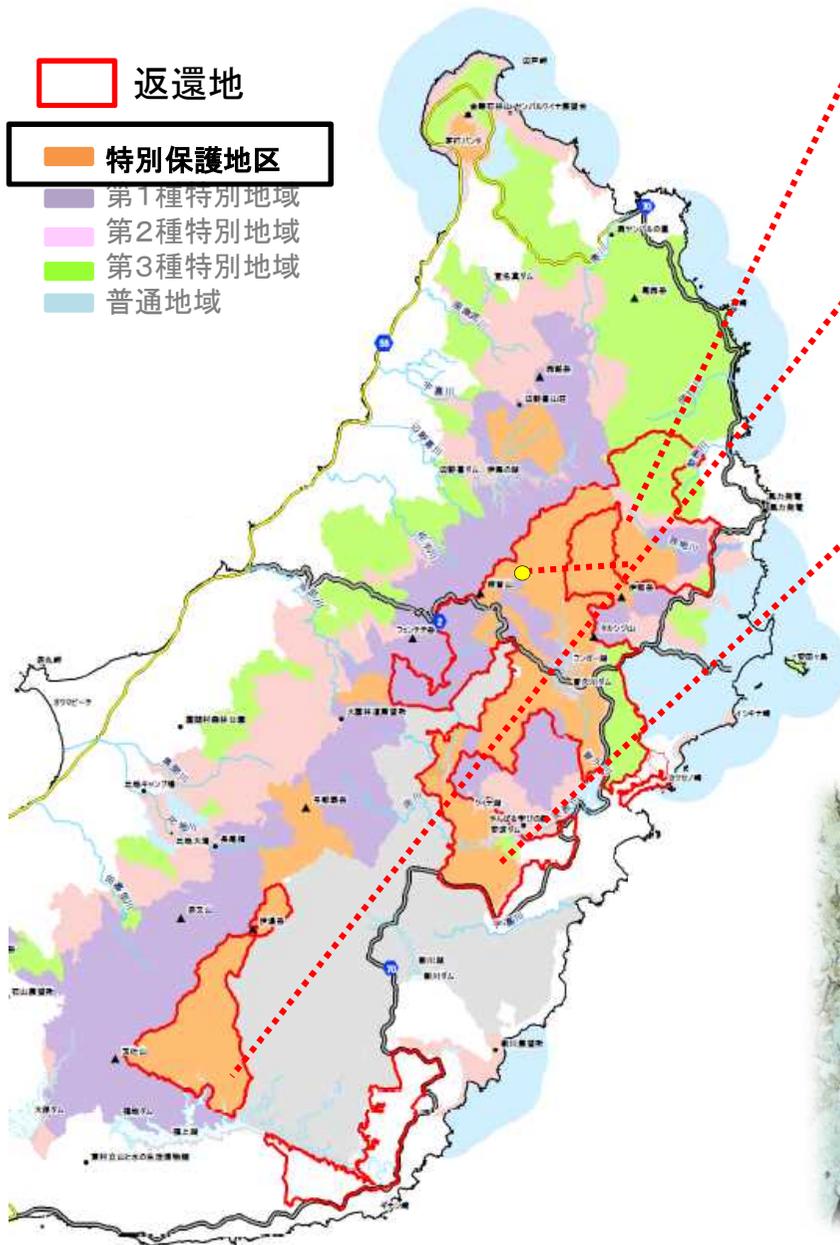
普通地域(陸域)

1,006ha → 1,031ha (+25ha)

普通地域(海域)

3,670ha → 変更無し

# 保護規制計画(特別保護地区)



## 【1】伊部岳

林齢80年以上の照葉樹林。希少種等の生息地。



我地林道から特保を望む

## 【2】脊梁山地

ふんがわ 普久川流域の溪流地 80年以上の照葉樹林



佐手の山

## 【3】東部地域

100~200mの丘陵地 70年以上の照葉樹林

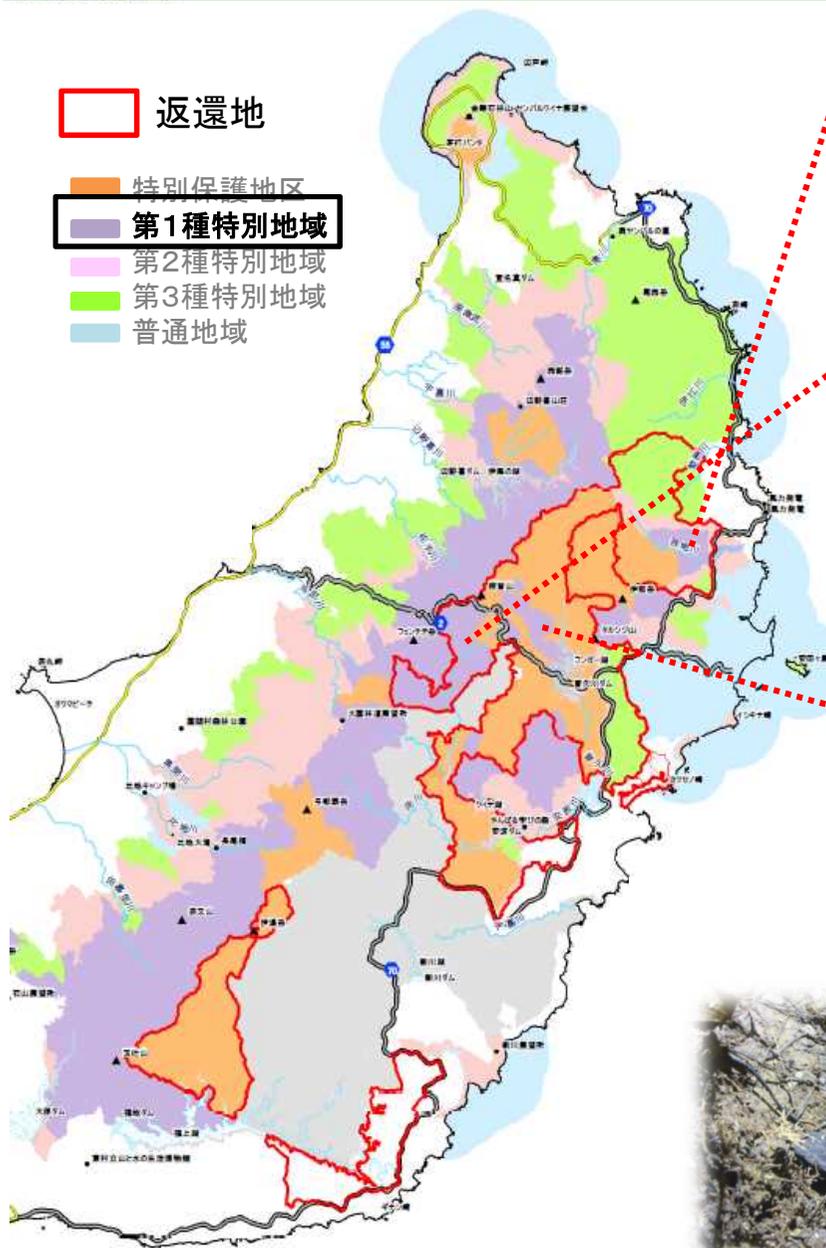


ノグチゲラ



玉辻山から返還地を望む

# 保護規制計画(第1種特別地域)



## 【1】我地川流域

がじがわ  
我地川流域に林齢  
50年以上の照葉樹  
林が広がる。



## 【2】脊梁山地

標高200m以上の  
山地に樹齢70年以  
上の照葉樹林が広  
がる。

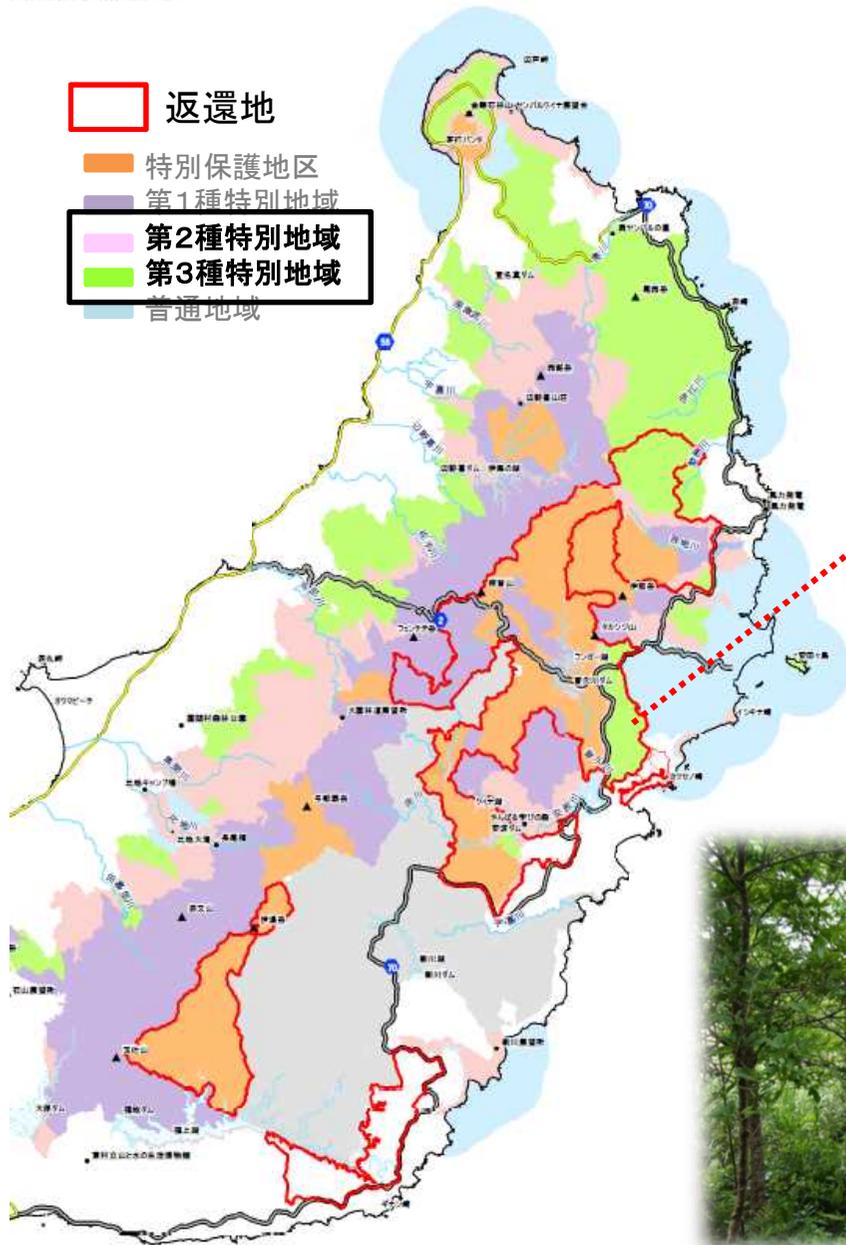


## 【3】東部地域

林齢30~50年程  
度の照葉樹林・リュウ  
キュウマツの人工林  
が広がる。



# 保護規制計画(第2、3種特別地域)



## 第2種特別地域

- ・ダム水面、ダム用地
- ・特別保護地区や第1種特別地域と一体的に生態系の保護と森林施業と調整を図る地域。

## 第3種特別地域

照葉樹二次林やリュウキュウマツの人工林を中心とする森林が広がる地域。



# 事業計画の変更内容

## 利用施設計画

### 単独施設

1 園地(新規)

### 道路(歩道)

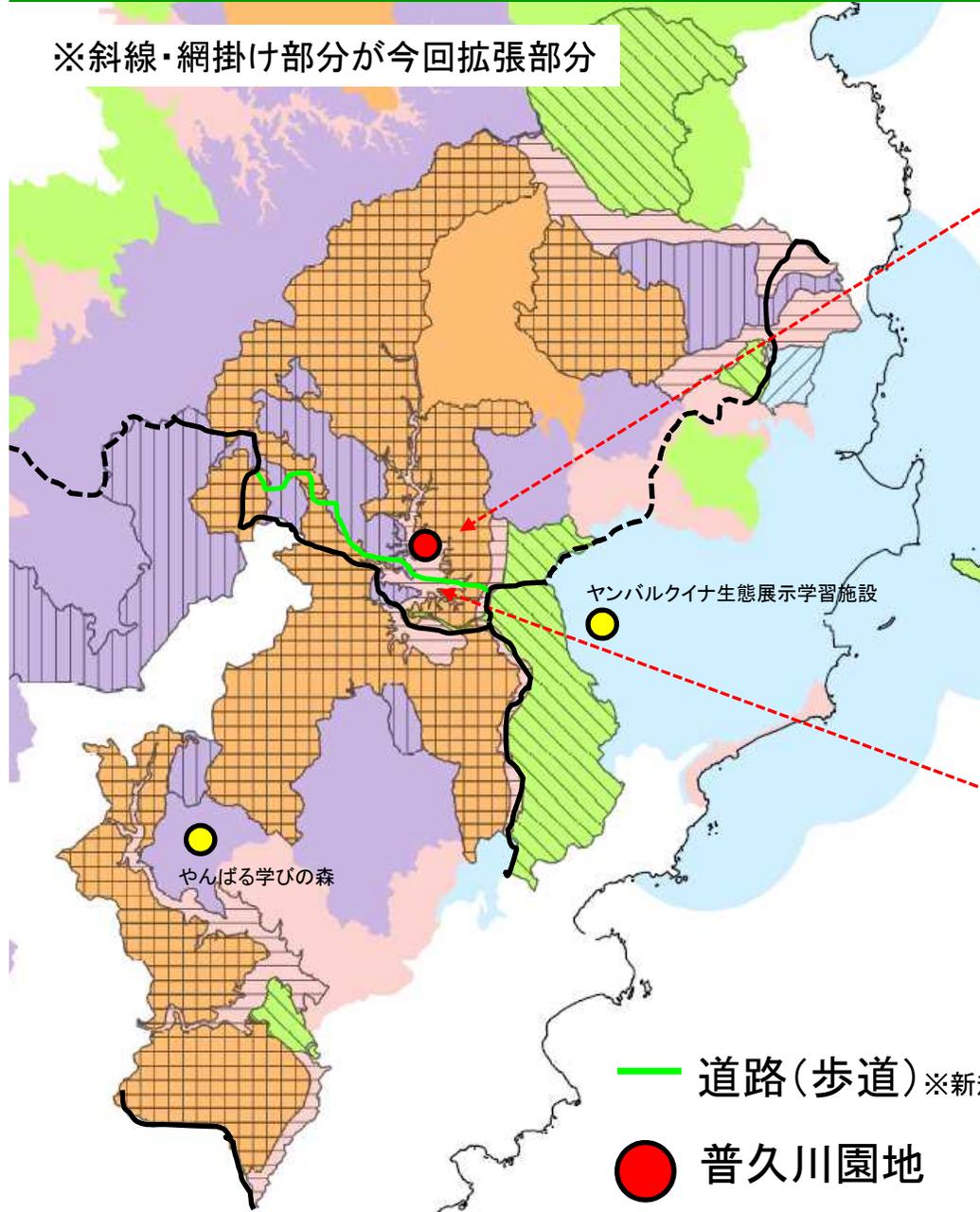
1 路線(新規)、4 路線(既存路線の延長)

### 道路(車道)

2 路線(既存路線の延長)

# 利用施設計画①

※斜線・網掛け部分が今回拡張部分



## 単独施設

ふんがわ  
24 普久川園地  
: 新規計画



## 道路(歩道)

8 フンガー湖探勝線 : 新規計画

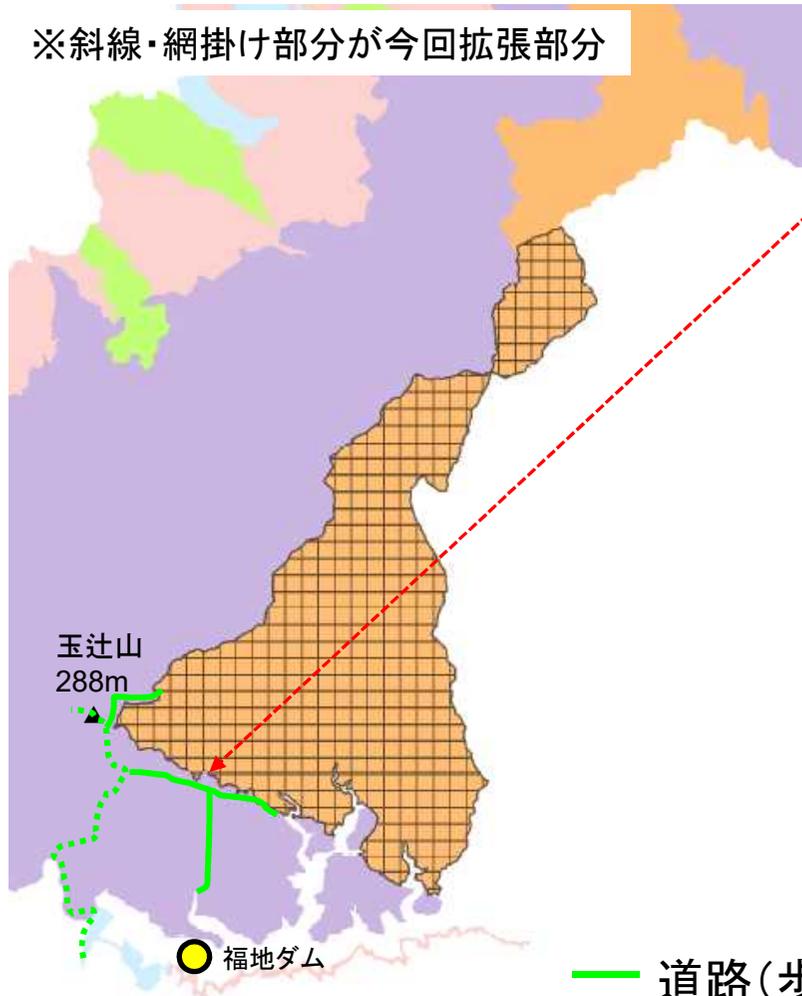


# 利用施設計画②

※斜線・網掛け部分が今回拡張部分

## 道路(歩道)

7 玉辻山線 : 既存路線の延長



— 道路(歩道) ※新規

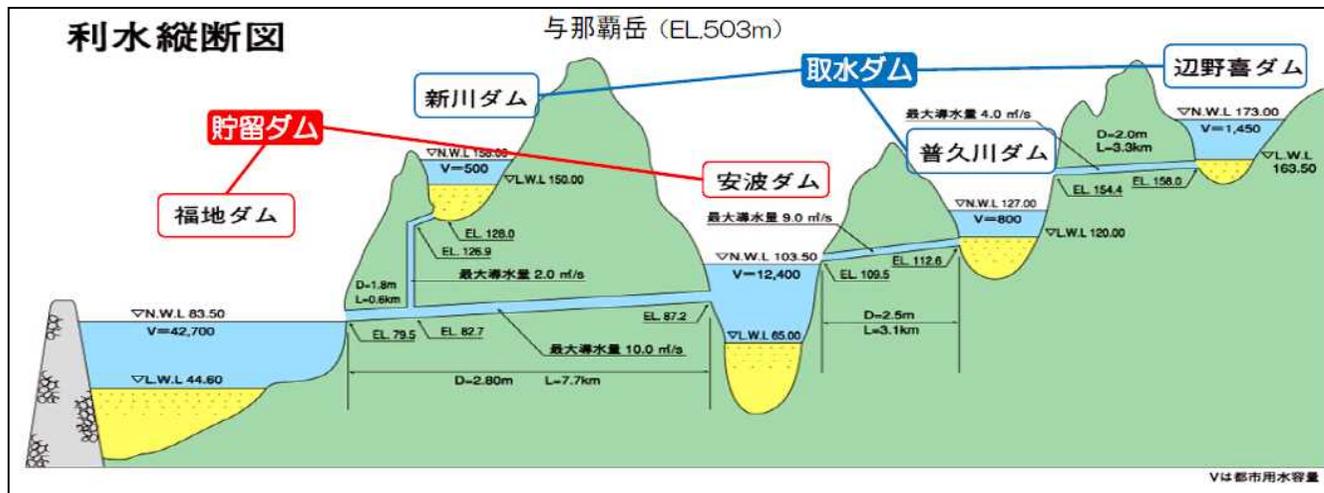
⋯ 道路(歩道) ※既存



# やんばる地域とダムについて



- ・やんばる国立公園内及び周辺に6つのダム
- ・利水(都市・工業)のほか、洪水調整機能を有する。



ダムツーリズムの様子

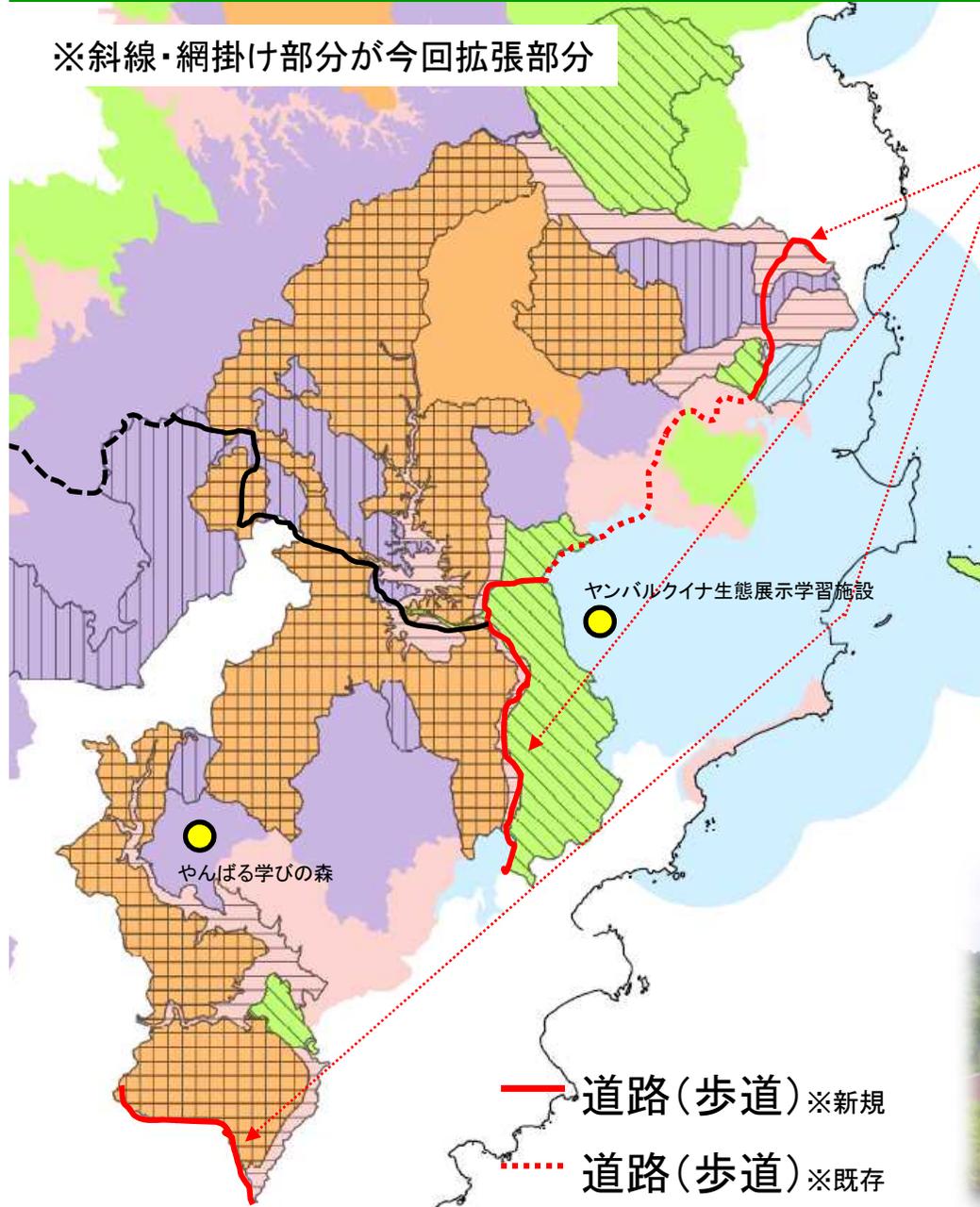
沖縄総合事務局  
北部ダム統合管理事務所HPより

# 利用施設計画③

※斜線・網掛け部分が今回拡張部分

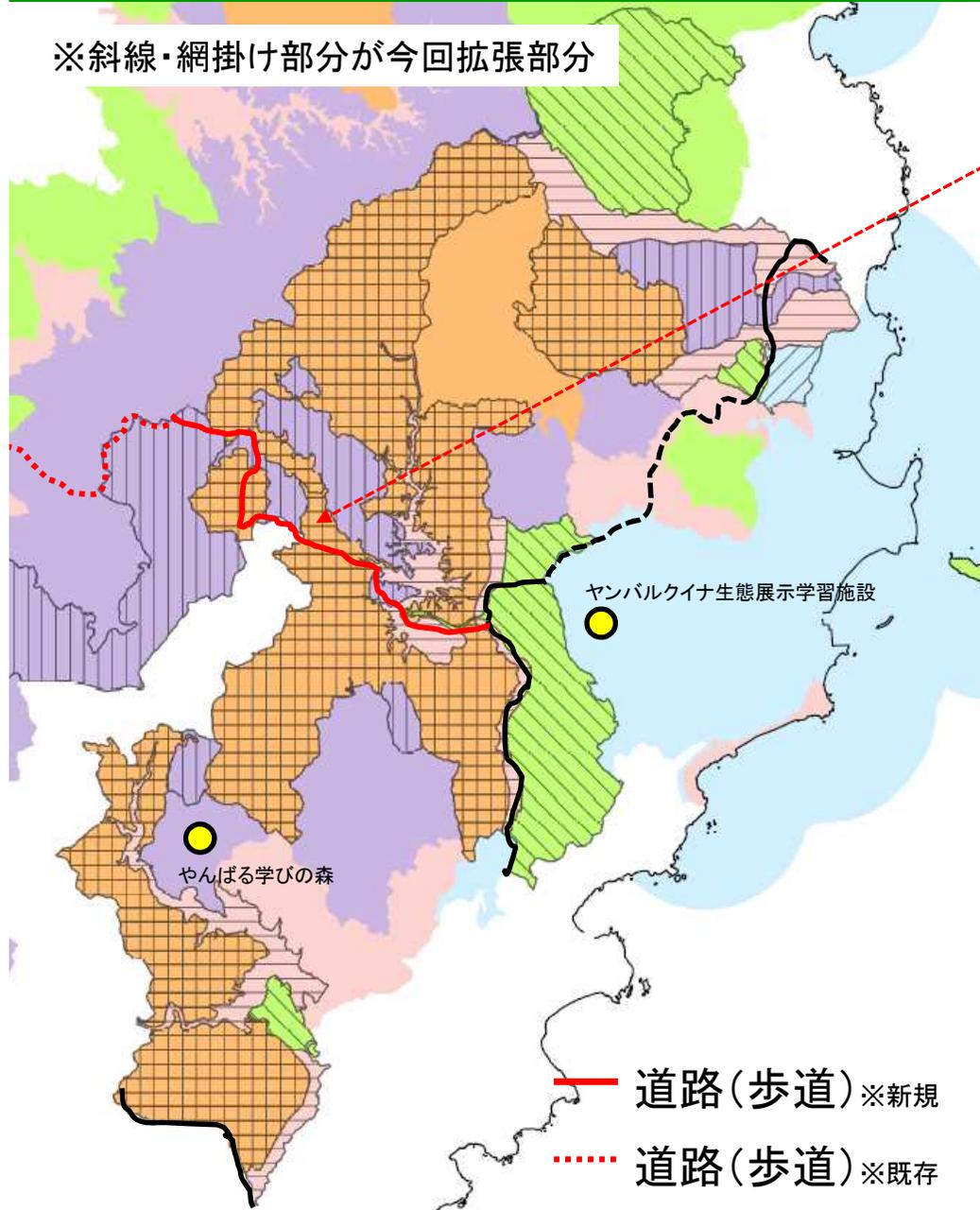
## 道路(車道)

### 3 東海岸線 : 既存路線の延長



# 利用施設計画④

※斜線・網掛け部分が今回拡張部分



## 道路(車道)

4 山原横断線 : 既存路線の延長

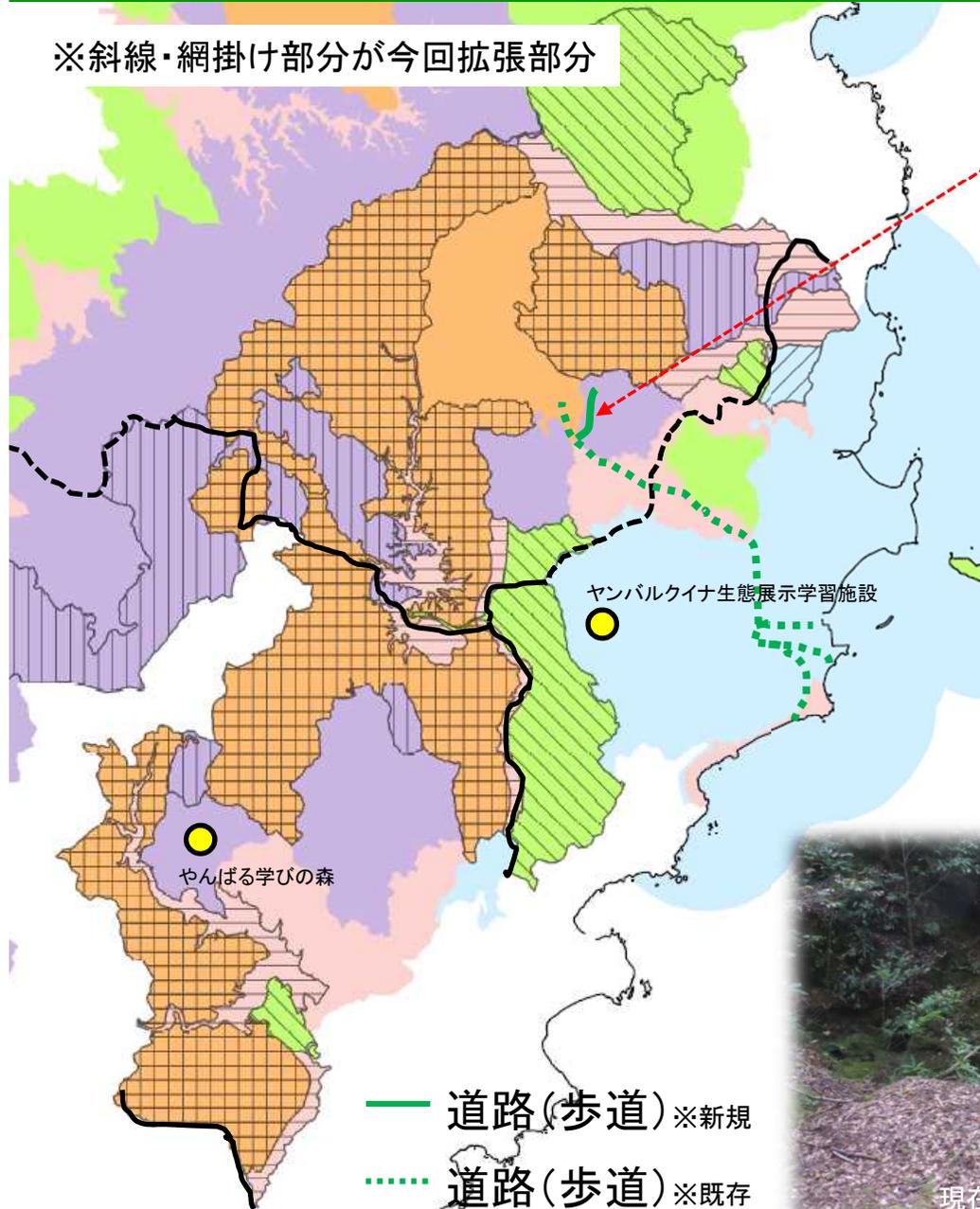


# 利用施設計画⑤

※斜線・網掛け部分が今回拡張部分

## 道路(歩道)

1 安田伊部岳線 : 既存路線の延長



安田伊部岳線



ウラジロガシの巨木

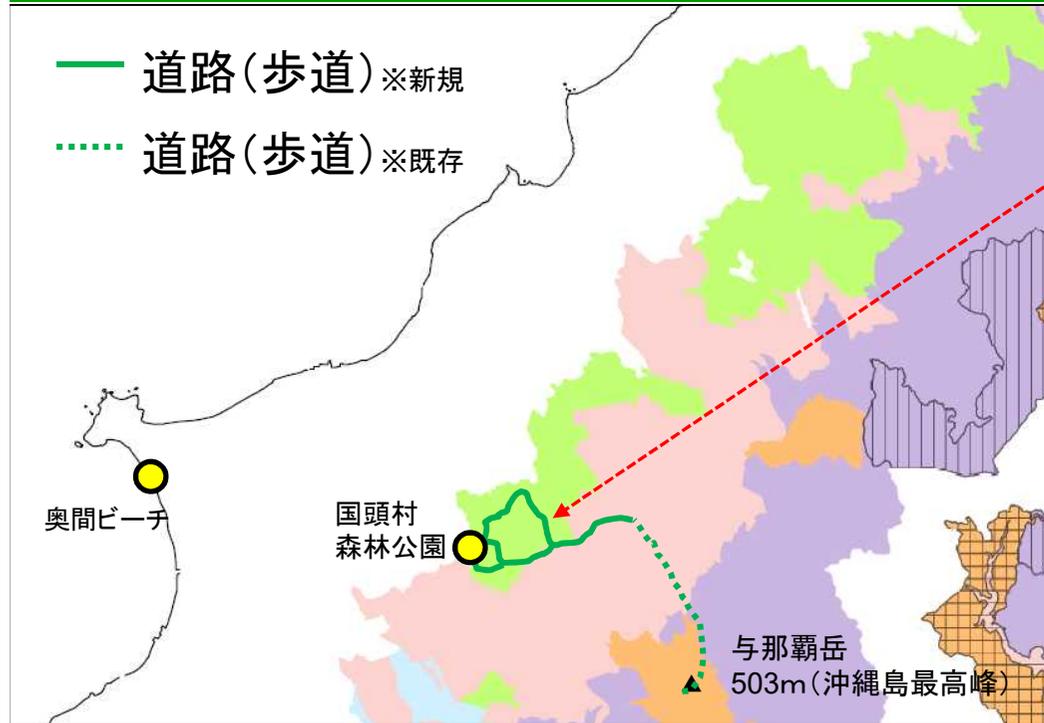


現在は使用されていない旧道

# 利用施設計画⑥

— 道路(歩道)※新規

⋯ 道路(歩道)※既存



## 道路(歩道)

7 与那覇岳線 : 既存路線の延長



# 御説明の流れ(レジュメ)

1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. パブコメへの対応について
6. 世界自然遺産登録について

# 中央環境審議会 自然環境部会における現地視察

●平成30年3月24日-25日にかけて実施



# 御説明の流れ(レジュメ)

1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. **パブコメへの対応**について
6. 世界自然遺産登録について

# パブリックコメントの実施結果

## ■概要

・実施期間 平成30年2月26日(月)～3月27日(火)

・意見募集の結果

### 【意見提出数】

電子メール、郵送、FAX 計 42 通

### 【整理した意見数】

今回の指定案にかかるもの 計108 件

・意見の内容

参考資料1のとおり

# 御説明の流れ(レジュメ)

1. やんばる国立公園(既存の区域)について
2. 今回の変更までの経緯について
3. 今回の変更内容について
4. 中環審部会における御視察について
5. パブコメへの対応について
6. **世界自然遺産登録**について

# 世界自然遺産登録について

## IUCN(世界遺産委員会の諮問機関)による評価結果(5月4日公表)

- 勧告内容:延期**(勧告の4段階の区分:①記載、②情報照会、③延期、④不記載)  
推薦書の本質的な改定・再提出後、約1年半をかけて再度諮問機関の審査を受ける必要がある。

### ●「延期」の主な理由

- ①推薦地の連続性の観点で、**沖縄の北部訓練場返還地**が重要な位置づけにあるが、現段階では**推薦地に含まれていないこと。**
- ②各島の中の推薦地は連続性に欠け、**分断された小規模な区域**が複数含まれていること。

### <評価のポイント>

- **返還地の追加、小規模な区域の削除**など、連続性の観点から**区域を修正**すれば、評価基準 x 「生物多様性」に該当し、遺産の価値は十分にある(評価基準 ix 「生態系・生物進化」については、生態学的な持続可能性に懸念があり、該当するとは言えない)。
- 推薦地に含める**返還地の現地調査**が必要。条約の手順に基づく**再推薦**の手続きが**適当**。

### ●その他の評価

- 北部訓練場の残る地域について、推薦地に対する実質的な緩衝地帯として機能し、景観の連続性や重要種の生息に貢献していると評価しつつ、a:推薦地管理の観点から米軍との調整のさらなる発展が要請。その他、b:推薦地管理への地元自治体や関係者の参画の推進、c:私有地(奄美大島)の取得の推進が要請。
- 推薦地の保護管理については、強力なガバナンス体制や多くの関係者の参画など、世界遺産としての要件を満たしているものと評価されている。一方で、推薦地の価値に影響を与える脅威として、ノネコ、ノイヌを含む侵略的外来種、固有種の交通事故、野生生物の違法採取、観光影響が指摘され、下記の対応が要請。
  - ・ 外来種対策の推進
  - ・ 実効性のある観光管理の仕組みの構築
  - ・ 絶滅危惧種や固有種等の総合的なモニタリングの実施